PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference BBoo04-10-14	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below			
International application No. PCT/JP2004/016930	International filing date (day/month/year) 15 November 2004 (15.11.2004)	Priority date (day/month/year) 18 November 2003 (18.11.2003)			
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237					
Applicant TAKAHASHI, Atsushi					

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).				
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.				
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.				
3.	This report contains indications r	relating to the following items	:		
	Box No. I	Basis of the report			
	Box No. II	Priority			
	Box No. III	Non-establishment of opin applicability	ion with regard to novelty, inventive step and industrial		
	Box No. IV	Lack of unity of invention			
	Box No. V		Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial explanations supporting such statement		
	Box No. VI	Certain documents cited			
	Box No. VII	Certain defects in the inter-	national application		
	Box No. VIII	Certain observations on the	e international application		
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).				
			Date of issuance of this report 22 May 2006 (22.05.2006)		
	The International Burea 34, chemin des Colo 1211 Geneva 20, Sw	ombettes	Authorized officer Yoshiko Kuwahara		
Facsimile No. +41 22 740 14 35			Telephone No. +41 22 338 90 90		

Form PCT/IB/373 (January 2004)

特許協力条約

REC'D 17 MAR 2005

発信人 日本国特許庁(国際調査機関)

出願人代理人	1			WIPO	PCT
高橋 淳					
梅					
あて名			D.	СТ	
〒 914-0814 日本国福井県 教 賀市木崎20-15-1		国際調査機関の見解啓 (法施行規則第40条の2) (PCT規則43の2.1]			
		発送日 (日.月.年)	15.0	3.2005	5
出願人又は代理人 の告類記号 BBoo04-10-14		今後の手続きに	ついては、	下記2を参照	すること。
国際出願番号 PCT/JP2004/016930 (日.月.年) 15	. 1	1. 2004	優先日 (日.月.年	F) 18. 1	11. 2003
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. 7 A46B3/06					
出願人(氏名又は名称) 高橋 淳					

1.	この見解書	は次の内	容を含む。		
	\times	第1欄	見解の基礎		
		第Ⅱ棡	優先権		
		第Ⅲ楖	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成		
	\Box	第IV棡	発明の単一性の欠如		
	x	第V棡	PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明		
		第VI쩪	ある種の引用文献		
		第WI欄	国際出願の不備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
		第Ⅷ楖	国際出願に対する意見		
2.	2. 今後の手続き 国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その 際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなる ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。				
	ら3月又は	優先日か)ように国際予備審査機関の見解 むとみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か 3ら22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 3もに、答弁書を提出することができる。		

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解告を作成した日 12.02.2005		
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 岩田 洋一	3R 9436
郵便番号100-8915 東京都千代田区飯が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101	内線 3384

第I欄	見解の基礎	雄			
1. 50	の見解書は、	下記に示	す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。		
	この見解書 それは国際	がは、 <u> </u>	語による翻訳文を基礎として作成した。 うに提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。		
2. こ 以	の国際出願 下に基づき	で開示された	かつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 成した。		
а.	タイプ		配列表		
			配列表に関連するテーブル		
ъ.	フォーマッ	۱ <u> </u>	45面		
			コンピュータ読み取り可能な形式		
c.	提出時期		出願時の国際出願に含まれる		
			この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された		
:			出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された		
з. [3. さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。				
4. 補	前足意見:				

それを裏付る文献及び説明		
1. 見解		
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	有 無
進歩性(IS)		有 無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1-6 ,	有 無
2. 文献及び説明		
9.19,全文,全図 文献2:JP 5-31 3,全文,全図(ファミ 請求項1-6について 細径樹脂捩じりブラミ は国際調査報告で引用さ で軸部を構成する点は言	7123 A (ライオン株式会社) 1993.12.	O する点 脂繊維

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/016930

第V個 新規性、進歩性又は産党上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、